練馬区立田柄中学校　学校だより

田柄だより

教育スローガン ： 明るく元気で楽しい学校

令和７年４月号

練馬区立田柄中学校
校長　小室　賢一

令和７年４月１５日（火）

令和７年度　チーム田柄がスタート

４月８日、１２１名の新入生を迎えて、全校生徒３１６名で令和７年度チーム田柄がスタートしました。入学式では、どの生徒も中学校生活への意欲と希望に満ちていました。先輩となった２年生・３年生が、優しく新入生を迎え、田柄中学校の一員として、学校生活が始まっています。

今年度の田柄中は「新校舎建設」の１年で仮設校舎での生活になります。少々狭さが気になりますが、学校行事も授業も部活動も不自由なく行うことができています。思う存分中学校生活での学びを深めて欲しいと思っています。

田柄中学校の教育目標は、開校当時からの校訓である「開拓、創造、勤労」の精神を踏襲し、

１　正しい判断ができる生徒（判断力）
２　協力・実践ができる生徒（協力・実践力）
３　自他の尊重ができる生徒（敬愛心）

この３つを目指す生徒像として、「明るく元気で楽しい学校」をスローガンに、教職員は「チームワーク・フットワーク・ネットワーク」を合言葉に教育活動を進めてまいります。今年度も本校の教育活動にご協力をいただきますようお願いいたします。

さて、令和７年度入学式で次のような話をしました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんが入学したこの田柄中学校は、６６年目を迎えた伝統ある学校です。卒業生は、１３，０００人以上です。みなさんも良き伝統を受け継ぎ、充実した中学校生活を築いていってほしいと願っています。

人は新しい環境になると複雑な気持ちになると言われますが、新入生の皆さんは今、どんな心境ですか。不安と期待ではどちらが大きいでしょうか。不安の原因を考えると、「うまくいかなかったらどうしよう」という気持ちがあると思います。

現在、アメリカの大リーグで活躍している大谷翔平選手が、大リーグに挑戦したいと申し出たとき、当時の監督が「アメリカで活躍できる自信はあるのか？」と尋ねたそうです。その際、大谷選手は、「僕にとっては『成功するかどうか』より『やってみること』が大事なのです」と答えたそうです。私はこの言葉から学ぶことは多いと感じます。

どんなことでもやってみなければ分かりません。考えてばかりでは何も変わりません。また、失敗から学べることは多いです。さらに、やらずに後悔するよりやって後悔したほうがいいと思います。なぜなら、やった結果は自分の経験になるからです。失敗したことがないということは何も挑戦しなかったことだと思います。失敗は成功するまでの途中経過と考えて、粘り強く挑戦し続けてください。

そうはいっても、失敗はつらいものです。ですから、時には家族から愛情をたっぷりともらって栄養補給をしてください。学校では、頼もしい先輩を頼ってください。また、友達とは、時には切磋琢磨し、時には支えあってください。仲間の失敗を笑うのではなく、その挑戦を応援できたらどうでしょう。充実した中学校生活になるのではないでしょうか。教職員一同も、皆さんの成長を願い、最大限応援します。

本校には、「明るく元気で楽しい学校」というスローガンがあります。すべての人が、そのように過ごせる学校を目指しています。ですから、皆さんは決して一人ではありません。明日から安心して通学してください。